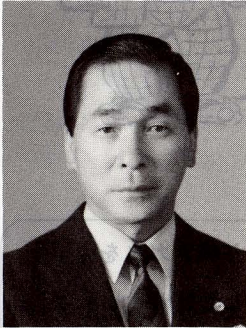


東京都社会保険労務士会 会報

千代田・中央支部

事務局 〒104 東京都中央区銀座1-13-4 大槻経営労務管理事務所内

東京都社会保険労務士会 千代田・中央支部 ☎03(535)5006 発行人 大槻哲也



●ご挨拶

千代田・中央支部の皆様へ

東京都社会保険労務士会

会長 石原 健三

平成元年度の通常総会において皆様のご推薦により会長に選任され、すでに年度前半期が経過いたしました。役員をはじめ会員の皆様のご協力を得まして諸事業も事業計画に基づき順次推進してきております。この間、会長就任にあたっての初仕事として、事務局整備ならびに図書情報資料室設置について取り組んでまいりました。

事務局整備につきましては、杉元前会長のご配慮でたまたま事務局の隣室が借り上げられてありましたので、この機会に会議室と図書資料室を設置することとし、業務課長・調査役を中心にプロジェクトを組み、実践的に活用する立場で斬新な検討を進めてまいりました。会議室は8月初旬に完成し、40人収容可能な広さで既に支部長会議ほか各委員会会議に使用されており、事務局に併設されたことで今日までのジブシー会場の不便さから開放され、好評を博しております。

図書情報資料室の設置につきましては、会員の資質向上対策の主要事業として千代田・中央支部ではかねてから再三にわたって本会に対し、要望提案されてきたところであり、私もその実現を切望してきた1人として、会長職にあって重要な使命感を抱いてその設置を目指し取り組んできたところであります。

本年度事業としては図書情報資料室の予算措置がありませんでしたが、社会保険労務士制度の発

展のための事業として図書情報資料室設置運営案を策定し、関係団体各方面に積極的に協賛をお願いしましたところ、さっそくに財中小企業経営者災害補償事業団体ほか13件より図書目録200万円のご支援が寄せられ、さらに公的団体の出版発行所から専門図書ならびに調査資料の寄贈献本をいただいております。

これらを受けまして、先に委嘱されております図書資料選定委員12名によりまして目録選定作業を進め、図書分類件名目録の整理もまとまり、第一次購入発注にまで至ったところであります。10月中旬に完成予定としており、現在、会員に対する閲覧利用方法等について検討中であり、近々図書目録とともに会員にお知らせいたします。ここで支部会員の声援を背負って、念願であった図書情報資料室の設置実現が出来たことにほっと一息を感じているところであります。

10月1日からは後半期事業に向かってまいりますが、事務局整備、図書情報資料室の設置を契機として事務局職員とともに会員に密着したサービス向上に一層努力してまいりますので、今後とも本会事業運営につきましては、皆様のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。本会事業の近況報告をもって、会長ご挨拶とさせていただきます。

寅さんとわたし

—俳優の労務管理と寅さんの老後—

松竹映画監督

山田 洋次 先生

平成元年3月8日

於：電設健保会館



当支部では、シリーズ「男はつらいよ」映画でおなじみの山田洋次監督をお招きして、「寅さんとわたし」と題してご講演いただきました。

はじめまして山田です、と黒メガネを片手に登壇された監督は「映画しか語れない」と前置きし、ゆっくりと次のようにお話しされた。

健 康保険と寅さん、妹のサクラが言う「兄ちゃん健康保険にも入ってないんだし…」こんなシーンを見た厚生省の方から「寅さんも本来入れるのに、我々の仕事が至らないせいで申しわけない」とのお電話をいただきました。また、寅が手紙を出すシーンのクローズアップでは、切手収集家の方とか、その他種々な専門の方からお便りをいただきまして、僕らの気が付かないところを実によく観察していただいております。

1969年の第1作目、当時20代の設定で団子屋のサクラと印刷工のヒロシが結ばれてから20年、寅さんシリーズも40作を数えまして時代も大きく変わりました。その頃「金の卵」といわれ集団就職で上京した職工さんたちは、ホコリだらけの活版を拾って、残業残業の毎日でした。そんな時代背景の中から始まった印刷業界も、今では写植機の時代となっています。

ある作品でヒロシが遺産を相続し、この金を工場に投資し工程を変えるところがあります。その後、印刷業界の方と昼食をしたとき「ヒロシのように腕と技術があり、時代を見通す力と統率力のある者が社長になるべきだ。タコ社長は会長にで

もしたら」と指摘してくれました。でもヒロシの夢といいますと活版で「きちんとした本」を作ることで、それが当時、腕も技術もある一般の職工さんの夢でした。

「社長なんて夢の夢ということか」

スタート時点では階級的に違う立場の設定でしたが、今ではそんな考え方がおかしいかなとも思っていますので、そろそろヒロシが社長でもいいと思っています。

それにしてもこの20年、日本は経済やライフスタイルが激しく変化しましたね。40代の中年女性との会合で、その夫たちは夜10時前には帰ってきたことがないそうです。また、帰って必ず食事をするそうです。昼食から9時頃まで食事もせず残業しているのですネ。

当然疲れていますから、食べてすぐ寝る。翌日、胃の調子も悪いでしょうから朝食もそこそこに仕事に行く。これでは50歳も過ぎれば必ず病気にもなります。サラリーマンも最近は週休2日で、1日はゴルフで1日はゴロ寝だそうですが、昼間、奥さま連が本を読み、映画を見て文化生活をしている時、その夫たちは極めて非文化的で、凄じい

働きをしているんですね。タメ息ものです、これは！

こんなにヒットするとは思わなかった寅さんですが、観客は大声で笑ってくれます。作者としては大変有り難いのですが、でもそれがストレスや不満が留まっているのだとしたら、大変悲しく寂しいことです。

さ てその寅さんシリーズですが、7～8作目でいつやめようかと考えた。そんな時、渥美清さんが「最近街で『寅さん！』しっかり頑張ってください。寅さん！ 渥美清は元気か、よろしく言ってくれ」などと言われ、始めの頃は（俺はあんな寅のように馬鹿じゃあない）とクサッていた。でも最近は寅がいた！ と声をかけられたら、かえって緊張するようになった。見ている人の期待どおり演じられるか。逆に寅に追い越されているのではないかと思うようになった」と言ってくれました。

観客は役者の姿・形だけでなく、その役者の目を見えています。悪人が善人を演じて、観客は彼の内面を感じとる。思わずこぼれる笑いは俳優が善意だから洩れ出るのです。

辛いとき、苦しいとき、悲しいとき会いたい人がいる。それが寅なんだ。それに気づいてから、「そういう人であり続ける」努力を開始したと言ってくれました。天才的なコメディアンでありながら、渥美さんのこうした努力、これがこんなに長く続いた原因だと思います。

せせこましくバラバラで、食事と一緒にとらない。本当の豊かさって何でしょうか。家族みんなで食事をとる。そうした姿こそ求めるべきで、だから寅のような存在が求められるんだろうと思います。

映画しかやらない渥美さんは、仕事の無いとき“休憩中”のバッジを付けていた。これはある時デパートで、美人店員から「今どうしておられますか」と聞かれ“休憩中です”と答えた。それならこれを差し上げましょうとくれたバッジがそうだが、彼でなくてはそのバッジは似合わない。休憩中が似合う人、いつも休憩している人、ボンヤリして美人が通るなと眺めている人、そんな人に会いたいと、みんな思うんじゃないですか。



渥美さんは、税金は早く払う。マネージャーは持たない。ムダな物は捨てる。という人で、役者として必要な物しか頭に入っていない。だからいつでもシャープで確な判断が下せる。子供のとき勉強はビリだった。生れつき変っていた。困った子だと言われ続けたそうだが、本当にそうだったろうと思う。

だが頭の良さと劣等生が同居していて、人が勉強しているとき人を観察していた。人を見る目を養っていた。一生懸命勉強する人、出世や金儲けに励む人を、醒めた観察眼でジッと観察していたんだと思う。それが演技の型になって出ています。

いつも弱い人間、弱い立場、低い視点から人を見る。悪い人や欠点などをよく見ていて、こんな見方もあるのかという視点を発見する。それが大勢の観客の共感を呼び、“寅さん”の人間像を作ったのだと思います。

12年前、森繁久弥さんに長崎の老漁師で出演してもらった時、「渥美ちゃんはいいなー。彼が『労働者諸君！ 今日も残業か、いつも貧乏だナー』と言えば、観客はドッと笑う。森繁が言えばシラケ、渥美君だと共感を覚える。私が金持ちで、彼が金持ちでないということはないのに観客は許さない。仲間内の悪口として共有し、観客は嬉しがっている」と言っておられた。森繁さんは実にそういう見方ができる人なんですね。

私

が大学を出た昭和30年代、映画界は栄光に満ちていた。黒沢明、溝口健二らが続々と登場し、米国、ヨーロッパからも注目された。今

は中国映画が注目されています。

日本は金持ちになるとともに、映画から離れた。他のレジャーに移った。映画には金をかけた大作志向というのがあるんですが、僕はダメです。10億円も20億円もかけて作れない。相変らず「寅さん」を作っていますが、金だけをかけた作品なんて興醒め。楽しい映画は、作り手が愛情を込めた作品、作り手が創意工夫をした作品から生れると今でも思っています。

最盛期に松竹映画は人員が1,000人くらいいたが、不況のなかで減った。メジャー型から、その仕事だけで集められるフリーのスタッフでのプロデュース方式に変わった。このスタイルが主流になって、大道具やカチンコさん、ボルノ風が導入された。贅沢な金をかけたボルノ風の映画で嫌になります。

こういうやり方は、物を無駄にしてしかたがない。例えば、ライトにフィルターをかけて使うんですが、私たちはフィルターは高価な物なのでハサミで切って使う。切れ端は小さいライトに使う。そして残った予算を次に廻しますが、独立プロダクション方式は節約しても誰も得をしないので、1回で使い捨て。節約の必要性を感じていない。私には理解できません。

資本主義社会における映画は、1億円も2億円も投資する大きな事業で、ペイしなければならぬものだが、一方で芸術でもあります。商業性と芸術性はシャム双生児で切り離せない。プロデューサーは金を出すから、商業性と芸術性をめぐり対立して喧嘩することもある。でもこの対立構造に意味があるのであって、社会主義社会には別の問題もあります。

1時間半か43分で、予算3,000万円のドラマが作られる。大部分が無駄で、こんなつまらない物を作るなら、前に見た秀作を再上映したほうが良いと思います。

だから作るほうも誠につまらない。予算と長さでドラマが作られ、実にいい加減で、物も大切にしない、投げやりの作品である。愛情を込め、良い作家や俳優を育てられない。育つ仕掛けも出来上がらないから、若い人が育たない。

昔は、倍賞千恵子など「あの女はいい子」とな

ればどこでも使う。皆で見守る。皆で注目する。良いところがあれば育てるという仕掛けがあった。今は無い。テレビメディアの発達とともに、音声サントが登場し、ハードの発達と反比例して内容は貧弱になった。

良い物を作るには時間が必要で、もう1回やってみようとする最低30日は必要。その限度をテレビは早くした。30代、40代で、芝居や映画をみる時間がない。実にゆとりの少ない状況としか言えません。

そんな中で40作まで作ってきたのですが、社労士の中林君なんか意見を開いたりして「サラダ記念日」では、あの団子屋さんはサクラが社会保険の手続をしました。生身の人間だからいつどうなるか分からないが、今は続けられるところまで続けるつもりです。

20年前、ヒロシとサクラは20代の恋人。それが今40歳代後半。オイちゃんオバちゃんだけでなく寅も還暦。15年前なら12時まで残業をやったが、今は俳優さんも歳をとってネバリたくてもネバリなくなった。そんな状況だから、いつまで続くか分からない。

何十回も続くことはありえないが、4つや5つは作る。去年は休んだが、夏休みと冬休みに一作ずつ作る。作れという人がいるから作っている。もはや課題がないし、スタッフも変って死んだ。仲間も死んでゆく……。

最後に日本の文化の中で、映画についていうと、世界中どこでも日本のカメラやトヨタ、日産、ソニーなどは有名だが、日本にシェイクスピアに匹敵するものがあるだろうか？ 世界の中ではマイナーな、お茶や歌舞伎、これを日本人がどれだけ知っているだろうか。日本の文化を日本人がどれだけ知り、どれだけ愛しているだろうか？ 文化って何？

そんな文化状況の中で黒沢、溝口、小津、清水広などの映画人が世界に影響を与えた。他の文化の影響は小さい。日本が世界に誇れるのは映画である。それなのに、その日本の文化を、映画を評価していない。学校で教えてもいない。10作や20作は見ているべきですよ。外国人が日本文化は何ですか？ と聞いたとき「小津、清水広のこの映

画を見てください。それはビデオで売っています」と、きちんと答えられる高校生はどれだけいますか？ それらはそう答える値打ちがあるので

す。

笠智衆さんは現在85歳。足が悪くなって住いの鎌倉で「寺」のロケを撮りました。イギリス、フランスへ行ってみるといい。ヨーロッパでどれだけ彼が尊敬されているか……。日本人はそのことを知らない。

とても悔しい……。

◇

次に会場から質問が出た。

①寅さんは国民年金に入っているか？

[柴又の住所で、たぶん心優しいサクラが手続している]

②次のマドンナは誰か？

[まだ考えてない]

③40作中監督が変わったのはなぜか？

[1作目がヒットしたので、柳の下に2匹の鰍で“続男はつらいよ”まではやった。3作、4作目は自分が脚本を書き、森崎監督でやった。材料とメニューは同じでも、板前の違う料理に似てガラッと感じが違ってしまい、5作目から元にもどった。したがって38作を監督したことになる]

④テキ屋に親分が出ないのはなぜ？

[今はテキ屋も車を持っている。最初は仁義をきったりしたが、そこをツツ込めば暗くなる。だから観客と作者の馴合いです。度を越さない程度にネ。だからフリーのテキ屋で＝フーテンのトラ] (笑い)

⑤ラブシーンがないのはなぜ？

[自分の感性として裸とベッドシーンはやらない。伊丹十三はマルサに裸を入れてヒットしたが、私とは逆のやり方です。レンタルビデオの発達で、ポルノはビデオに流れる。ポルノは自宅で一人こっそり見るものです。映画館に行く。家族や友達と一緒に出かけ皆で笑って見る。正月に皆で行く。これが日本人の文化です。]

⑥寅さんが外国に行く話はないか？

[寅さん映画はいろんな国に行っています。でもテキサスや中国、モスクワへ寅が行けますか？



行く理由が見つからない。寅は外国になぞ行きたくないし、第一金が無い。「ハイビスカスの花」で初めて寅はジェット機に乗った。それでも怖くて30分も乗る、乗らないで喧嘩した。でも一度は行かせてやりたい。その中で寅がどんな感想を漏らすか、自分も聞いてみたい…]

この後、第41作「男はつらいよ：寅次郎心の旅路」がクランクインし、心優しい監督によって寅さんはめでたくウィーンに旅をすることになりました。

いつまでも続くことを祈って報告を終わります。

(文責：研修委員会 恩 田 和 明)

平成元年度

算定相談コーナー を実施しました



本年度も、各社会保険事務所に相談コーナーが開設され（写真）、算定基礎届等に関する相談、指導業務の任にあたりました。以下に実施結果を報告します。

担当会員名

①麴町社会保険事務所（8月1日～8月10日）14名

才木 惇, 北野 茂, 込山元喜, 橋本敬司, 桑原良治, 国岡喜久, 藤野敏寛, 豊岡来実, 長森敏泰, 関口尚孝, 横尾直子, 永島セツ, 五十嵐静男, 新井功一

②神田社会保険事務所（8月1日～8月11日）16名

相馬誠一, 森萩忠義, 朝緑陽太郎, 山根松夫, 早坂高明, 高畠勉, 柏木弘文, 森 莞子, 秋葉俊夫, 遠藤元基, 石原健三, 金綱久夫, 町口政二三, 恩田和明,

算定相談コーナー実施結果

項目 地区	延 動 員 者数(人)	延 日 数 (日)	指導・相談 事業所数	備 考
麴 町	16	16	115	開設8/1～8/10 (8日間・各日2名)
神 田	16	16	136	開設8/1～8/11 (9日間・各日1～2名)
日本橋	18	18	117	開設8/1～8/11 (9日間・各日2名)
京 橋	25.5	25.5	197	開設8/1～8/10 (8日間・各日3～4名)
合 計	75.5	75.5	565	

雨宮 功, 新堀英行

③日本橋社会保険事務所（8月1日～8月11日）17名

山崎雅也, 石山幸子, 吉本伸太郎, 今野正春, 原田利雄, 鈴木義一, 真許隆弘, 萩原広行, 川合昭子, 佐々木俊世, 吉野俊雄, 森 友良, 内藤治男, 岩田省一, 富田安俱, 関口 武, 千賀綾二

④京橋社会保険事務所（8月1

日～8月10日）26名

大槻哲也, 河嶋平助, 富田秀子, 金澤 律, 赤松ハルミ, 中林政雄, 遠藤卓己, 石川英豊, 石井温隆, 川崎ふみ, 大森四郎, 吉瀬君江, 松原敏明, 新崎喜代子, 渡辺やす江, 小野菊枝, 荘司美恵子, 佐藤純, 松林清雄, 赤森伸子, 小玉岩町, 渡辺和洋, 藤原久嗣, 小口隆明, 森 才一, 飛澤孝治

社会保険事務所所長より 感謝状！

算定相談コーナーの期間中に協力された会員に、社会保険事務所所長より感謝状が贈呈されました。

●麴町社会保険事務所

永島セツ, 横尾直子, 豊岡来実

●神田社会保険事務所

雨宮 功, 恩田和明, 柏木弘文

●日本橋社会保険事務所

川合昭子, 原田利雄, 吉野俊雄

●京橋社会保険事務所

河嶋平助, 吉瀬君江, 中村政雄, 荘司美恵子

労働保険指導員に感謝状が贈 呈されました

本年も、労働保険指導員に基準局長ならびに基準監督署長より感謝状が下記の会員に授与されました。

《東京労働基準局局長感謝状》

野尻治子, 内藤治男

《中央労働基準監督署署長感謝状》

小口隆明, 相馬誠一, 長森敏泰, 桑原良治, 永島セツ, 松林清雄, 金綱久夫, 込山元喜, 新堀英行, 雨宮 功, 吉野俊雄, 川合昭子, 原田利雄, 白岩三郎, 長谷川武, 入田栄二, 佐々木俊世, 高畠 勉, 藤原久嗣, 丸山進, 横尾直子



労働保険説明会が開催されました

会場…中央労働基準監督署

★第53回 平成元年 6 月 6 日(火)

講師 中央労働基準監督署

倉下給付調査官, 田原労働基準監督官

会員 内藤治男, 富田秀子

出席事務所 11

会員 相馬誠一, 浦和憲二

出席事業所 7

第55回 平成元年 8 月 1 日(火)

講師 中央労働基準監督署

益子給付調査官, 丹羽労働基準監督官

会員 吉野俊雄, 吉本伸太郎

出席事業所 8

(敬称略)

★第54回 平成元年 7 月 4 日(火)

講師 中央労働基準監督署

藤岡給付調査官, 平坂労働基準監督官

委	員	会
報	告	



〈総務委員会〉

第 3 回正副支部長・委員長会

6 月12日, 日比谷「松本楼」において開催。

(1)報告事項

イ. 東京都社会保険労務士会諸会議の結果について

ロ. 部会ならびに委員会の活動状況について

(2)協議事項

イ. 第 2 回研修会の開催について

ロ. 算定基礎届相談コーナー打ち合せ会の開催について

第 4 回正副支部長・委員長会

7 月12日, 電設健保会館において開催

(1)報告事項

イ. 東京都社会保険労務士会諸会議の結果について (全国社会保険労務士会連合会総会について)

ロ. 部会ならびに委員会の活動状況について

ハ. 新旧支部長歓迎会ならびに新旧幹事・監査の親睦会の結果について

(2)協議事項

イ. ほっとウィーク・フォーラム東京 (中央)

大会の参加について

日 時 平成元年 7 月21日(金)13:30

場 所 経団連会館ホール

ロ. 労働保険指導員に対する東京労働基準局長感謝状の授与者の推薦について

ハ. 第 3 回研修会の開催について

日 時 平成元年 9 月13日(木)15:00

場 所 電設健保会館

ニ. 第 4 回研修会 (管外) の開催について

日 時 平成元年10月13日(金)~14日(土)

第 5 回正副支部長委員長会ならびに

第 2 回正副支部長・幹事・監査会

9 月13日, 電設健保会館において開催。

(1)報告事項

イ. 東京都社会保険労務士会諸会議の結果について

ロ. 部会ならびに委員会の活動状況について

ハ. 平成元年度収入支出中間報告について

ニ. 会員異動状況について

ホ. 平成元年度算定基礎届相談コーナー実施結果について

ヘ. 委嘱状の交付について

(2)協議事項

イ. 10月以降の事業実施について

ロ. 労働保険指導員に対する感謝状授賞祝賀会について

日 時 平成元年 9 月28日(木)18:00

東社労政治連盟千代田・中央支部の 新役員をご紹介します

去る3月28日開催の第3回定期支部大会で、改選された新役員は次の方々です。

前号で沢崎新支部会長の新任挨拶もありましたように、向う2年間、東社労政連の下部組織として、その使命を果たすよう全力を尽くします。なにとぞ、ご理解あるご支援をお願いいたします。

新役員名簿（順不同・敬称略）

・支部会長 沢崎 昇

- ・支部副会長 田島 守、松村清雄、古川泰一郎、千賀綾二
- ・支部幹事長 山本弘之
- ・支部副幹事長 恩田和明
- ・支部幹事 岩田省一、雨宮 功、岡本晃一、新井功一、橘高正風、小口隆明、榊原昭夫、小山 昇、清水克己、富田秀子、田中 功、長森敏泰、仲野三郎、森 莞子、室町弘幸、渡辺和洋
- ・支部監査 石川宏、森 オー

組織強化のため、会費納入にご協力を

東京都社会保険労務士会政治連盟は、いうまでもなく政治資金規正法に基づき、自治大臣に届出た正規の政治団体です。

申すまでもなく、政治団体設立の目的は、特定の公職の候補者を推せんし、施策を有利に実現することにあるわけです。

ご承知のように、社会保険労務士法は議員立法により生まれました。

われわれが理想とする社会保険労務士制度に一步でも近づけるための法改正には、すべての国会議員の理解と協力がなくてはなりません。

個々人では微力なわれわれの政治活動に対して、国会議員の先生方に積極的な理解を示していただくためには、なんとしてでも全会員が連帯を強固にし、一丸となって強力な支援態勢を整え、真の力を持つことにあります。

それには、どうしても、できるだけ多くの浄財を必要とします。

諸種の事情あるいはご意見もありませんが、大局の見地から、ぜひとも会費の納入には特段のご協力をお願いいたします。

あ と が き

広報副委員長

森 莞子



いわし雲

赤とんぼ

もえたつ百日紅

夏は後ろすがたをみせて去っていく
猛暑の中の算定もクリアー、
優雅な夏休みの後は、頭も体も秋渇き
研修に読書に、

紅葉に誘われて奥の細道も…。